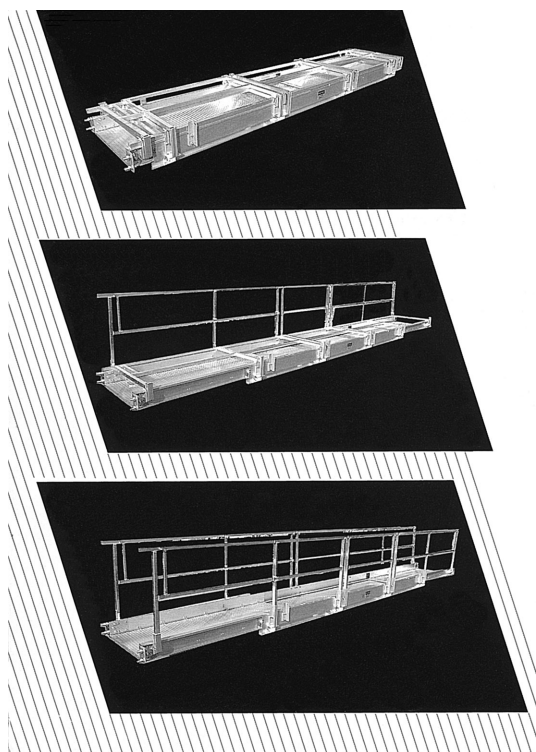


アルミスカイブリッジ





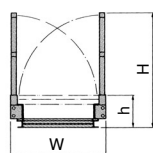
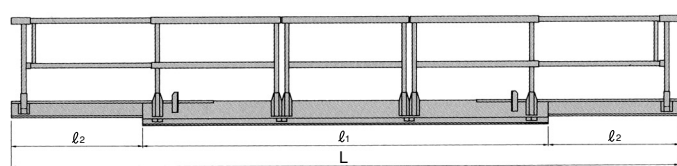
手摺を内蔵した伸縮構造のコンパクトユニット、
架設・解体が短時間でこなえ、運搬・収納も容易です。

特長

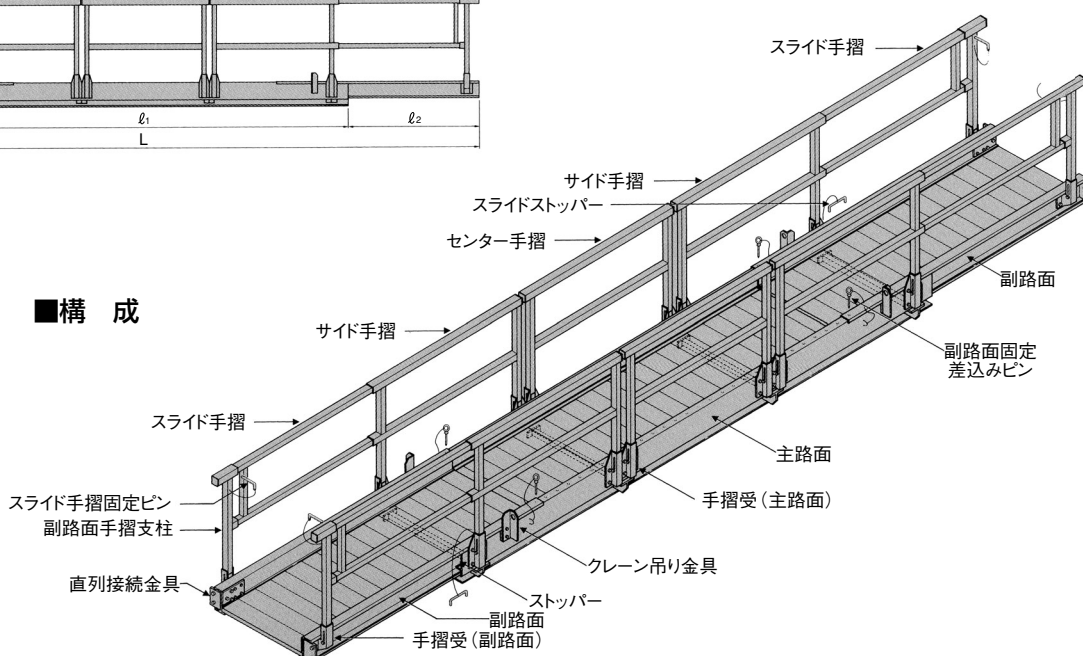
- 1) フレキシビリティ
長さ調節が可能な伸縮構造のため、任意の鉄骨梁の間隔(2,950~9,600mm)に合わせて設置することができます。調節は人の力で簡単に行なえ、架設時の微調整をクレーンで吊り上げたまま楽に行なえます。
- 2) コンパクト
手摺を内側へと折畳んで収納できるコンパクトな設計です。運搬や収納が楽に行なえ、また一体型のため部品数が少なく、在庫管理も容易です。
- 3) アルミ合金製
軽量で耐食性や強度にすぐれたアルミ合金製です。作業性にすぐれ、メンテナンスが簡単。許容積載荷重も2.94kN/スパン(安全率3以上)と、安心してご使用いただけます。
- 4) 能率向上
架設・解体が容易であり、短時間で安全通路を設置できるため、高所作業の安全性を確保し、作業能率の向上を促進します。また、SRC造用固定金具を使用すると、スカイブリッジを架設したままで配筋、コンクリート打設が行なえます。

型式と寸法

型式	寸法(mm)						重量 (kg/台)	
	全長(L)	主路長(l ₁)	副路長(l ₂)	全幅(W)	全高(H)	収納時高さ(h)		
標準タイプ	ASKB44-07	2950~4350	2600	875	912	995	310	117
	ASKB66-07	4350~6600	4000	1300	〃	〃	〃	165
	ASKB96-07	6350~9600	6000	1800	〃	〃	〃	220
巾広タイプ	ASKB66-11	4350~6600	4000	1300	1312	〃	〃	258
	ASKB96-11	6350~9600	6000	1800	〃	〃	〃	336



構成

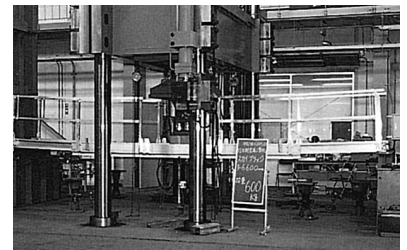
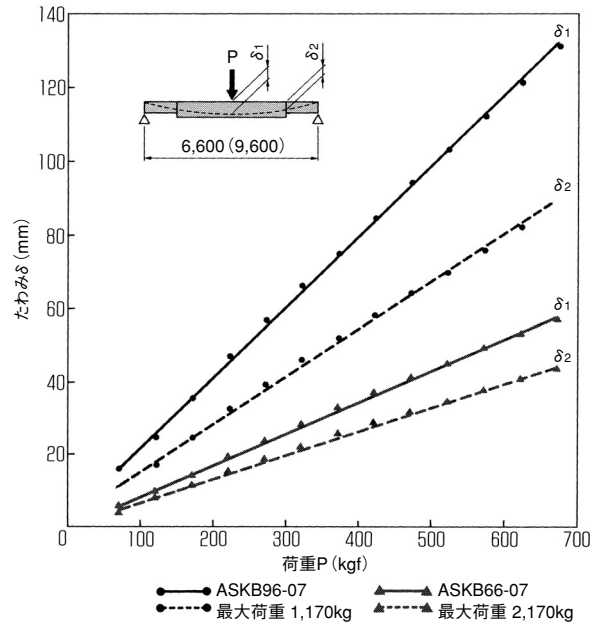


■架設条件と許容積載荷重

接続条件	架設条件			許容積載荷重	備考	
	架設例	支持間隔 (mm)				
		ASKB44-07	ASKB66-07	ASKB96-07		
単独使用						
直列接続		$l \leq 4,400$ $l_1 \leq 875$	$l \leq 6,600$ $l_1 \leq 1,300$	$l \leq 9,600$ $l_1 \leq 1,500$	300kg / スパン	端部は必ず4点固定して下さい
		(l_0 =H鋼フランジ幅 l_1 =張出量)	(l_0 =H鋼フランジ幅 l_1 =張出量)	(l_0 =H鋼フランジ幅 l_1 =張出量)		
直交接続		$l \leq 4,400$	$l \leq 6,600$	$l \leq 9,600$	300kg / ブロック	
	(1ブロックでの架設例)					

注) 上表以外の架設状態では支持間隔の条件が変わるケースも有りますので、事前にご相談下さい。
巾広タイプ (ASKB66-11・ASKB96-11) は直交接続はできません。

■荷重によるたわみ量の変化



(社) 仮設工業会における試験状況

オプション部品

●端部手摺
ASKB-800...1.6kg
ASKB-1200...2.2kg

かさ上げ金具
ASKB-H2, ASKB-H3

かさ上げボルト
ASKB-H1

●T型接続金具
1ヶ所につき、左右の2セットを使用します。

■1セット
ASKB-TL 1
ASKB-TR 1
ASKB-TL...3.0kg
ASKB-TR...3.0kg

●T型補助手摺 ※図は左用
ASKB-LC...4.8kg
ASKB-RC...4.8kg

●SRC造用固定金具
ASKB-H1...1.0kg
ASKB-H2...12.8kg
ASKB-H3...19.4kg

■1セット

	標準Type	巾広Type
ASKB-H1	4	4
ASKB-H2	1	—
ASKB-H3	—	1

●S造用固定金具
ASKB-S1N...0.8kg

架設上の注意

1) 荷重制限

スカイブリッジの架設は「架設条件と許容積載荷重」の表に従い、表以上の荷重とならないようご計画下さい。

2) 直列接続

直列に接続される場合は、支持梁上に接続点がくるようにご計画下さい。割付上、やむをえず接続点が支持梁上にこない場合は、右図のように張り出し量に制限がありますのでご注意下さい。

3) T型接続

接続部は必ず主路面の桁にT型接続金具を使用し、確実に固定して下さい。また、接続部での手摺間隔が著しく広い場合は、T型補助手摺をご使用下さい。

4) 端部

連絡路に接続しない最端部には端部手摺をご使用下さい。

5) 揚重

クレーンによる吊り上げや解体・移設時の吊り降ろしは、4ヶ所のクレーン吊り金具を利用し、本体に直接ワイヤーロープ等をかけないで下さい。手摺を立てたまま行なうときは、手摺に荷重がかからないようにワイヤーを掛けて下さい。なお、スカイブリッジの吊り上げは1台ずつ行なって下さい。接続したままでは吊り上げられません。

6) 端部の固定

① 副路面が支持梁から張り出さない場合

S造用固定金具4個、またはSRC造用固定金具の4ヶ所の固定部で確実に固定して下さい。

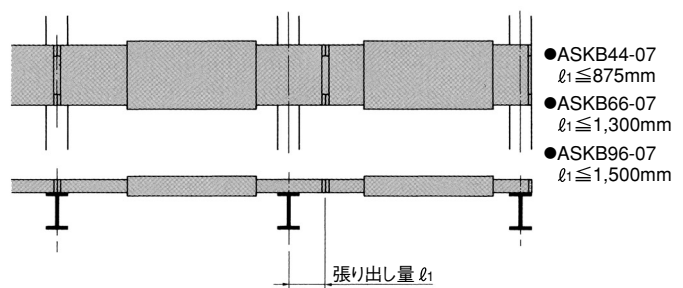
② 副路面が張り出す場合

支持梁との固定は上記1と同じです。但し、副路面の張り出し量は直列接続の場合と同じ制限をお守り下さい。また、張り出した反対側は固定金具等により、はね上がりを防止して下さい。

7) 副路面のスライド防止

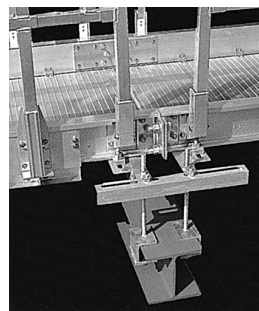
トラックでの運搬やクレーン等で移動させる場合は、必ず副路面固定差込みピンまたはスライドストッパーで主路面に固定して下さい。

●直列接続部での張り出し量

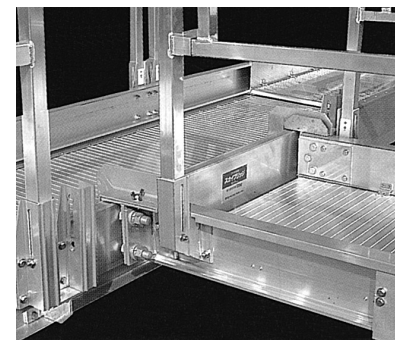


●接続部の固定

(直列接続部)

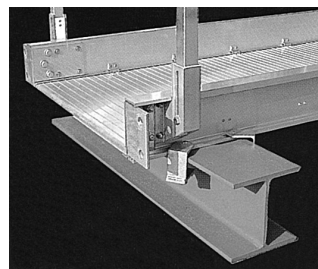


(T型接続部)

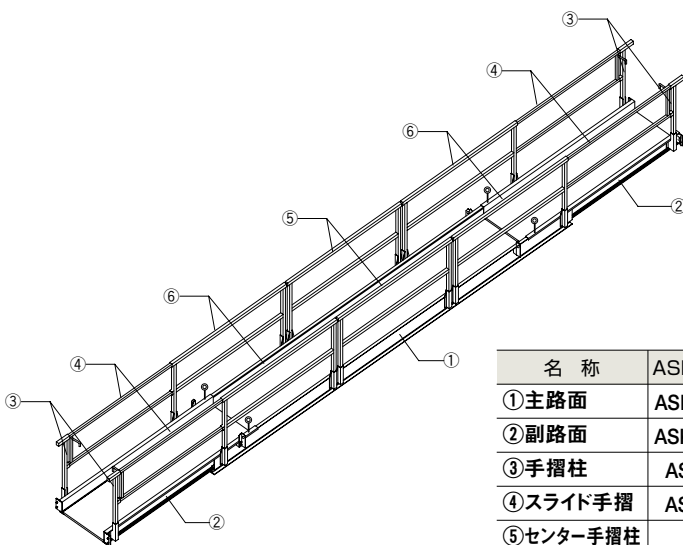
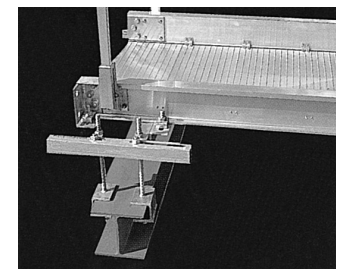


●端部の固定

(S造用)



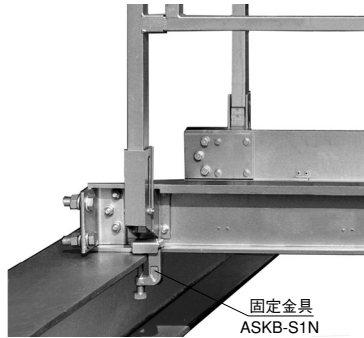
(SRC造用)



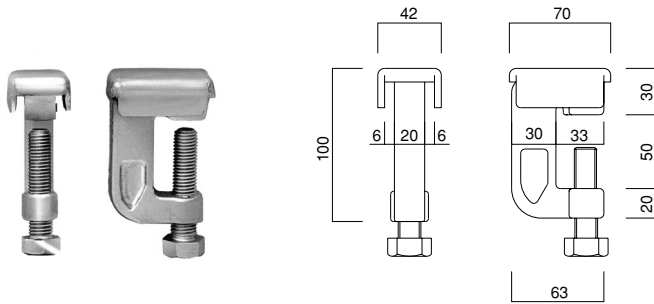
名称	ASKB44-07	ASKB66-07	ASKB96-07	ASKB66-11	ASKB96-11
①主路面	ASKB44-07A	ASKB66-07A	ASKB96-07A	ASKB66-11A	ASKB96-11A
②副路面	ASKB44-07B	ASKB66-07B	ASKB96-07B	ASKB66-11B	ASKB96-11B
③手摺柱	ASKB44-A	ASKB66-A	ASKB96-A	ASKB66-AS	ASKB96-AS
④スライド手摺	ASKB44-B	ASKB66-B	ASKB96-B	ASKB66-BS	ASKB96-BS
⑤センター手摺柱	—	ASKB66-C	ASKB96-C	ASKB66-CS	ASKB96-CS
⑥手摺	ASKB44-D	ASKB66-D	ASKB96-D	ASKB66-DS	ASKB96-DS

S造用固定金具 ASKB-S1N…0.8kg

かさ上げが必要の無い場合（鉄骨へスカイブリッジを直接固定する場合）に使用します。

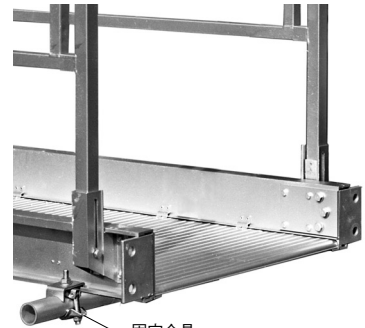


固定金具
ASKB-S1N

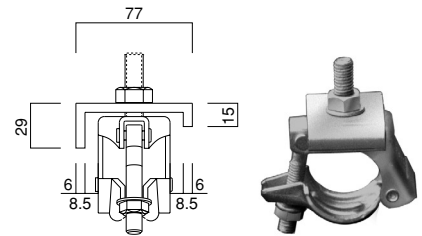


単管用固定金具 ASKB-C1…0.5kg

単管パイプへスカイブリッジを直接固定する場合に使用します。（φ42.7・φ48.6兼用）



固定金具
ASKB-C1



荷受けステージ接続金具

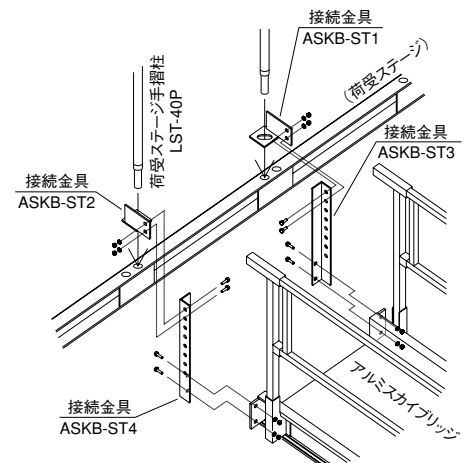
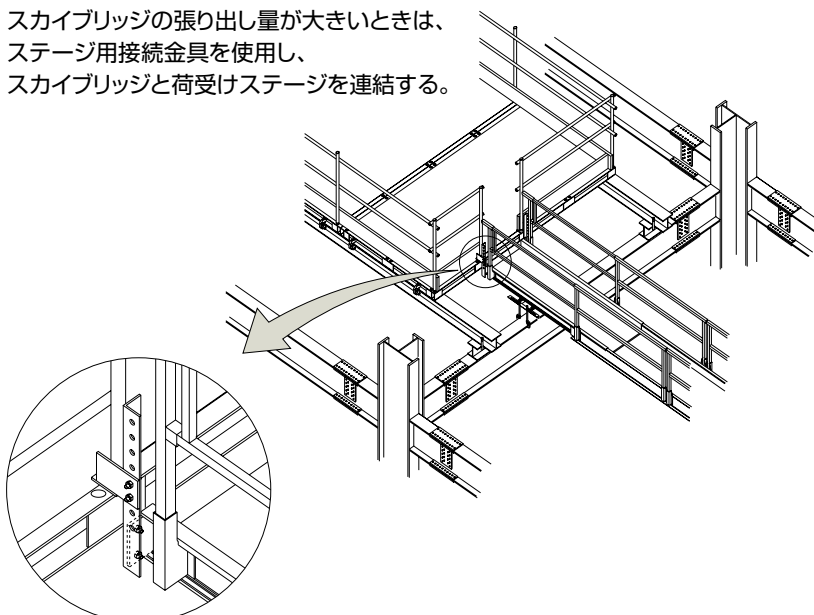
- ① 接続金具 (ASKB-ST1, -ST2) の穴を通して手摺柱を荷受けステージに差し込む。
- ② 接続金具 (ASKB-ST3, -ST4) をアルミスカイブリッジの直列接続金具にボルトで固定する。
- ③ アルミスカイブリッジを吊りあげた状態で高さを調節し ASKB-ST1とASKB-ST3、ASKB-ST-2とASKB-ST-4をボルトで固定する。

*ボルト:M20×65

ASKB-ST1,ST2…1.2kg

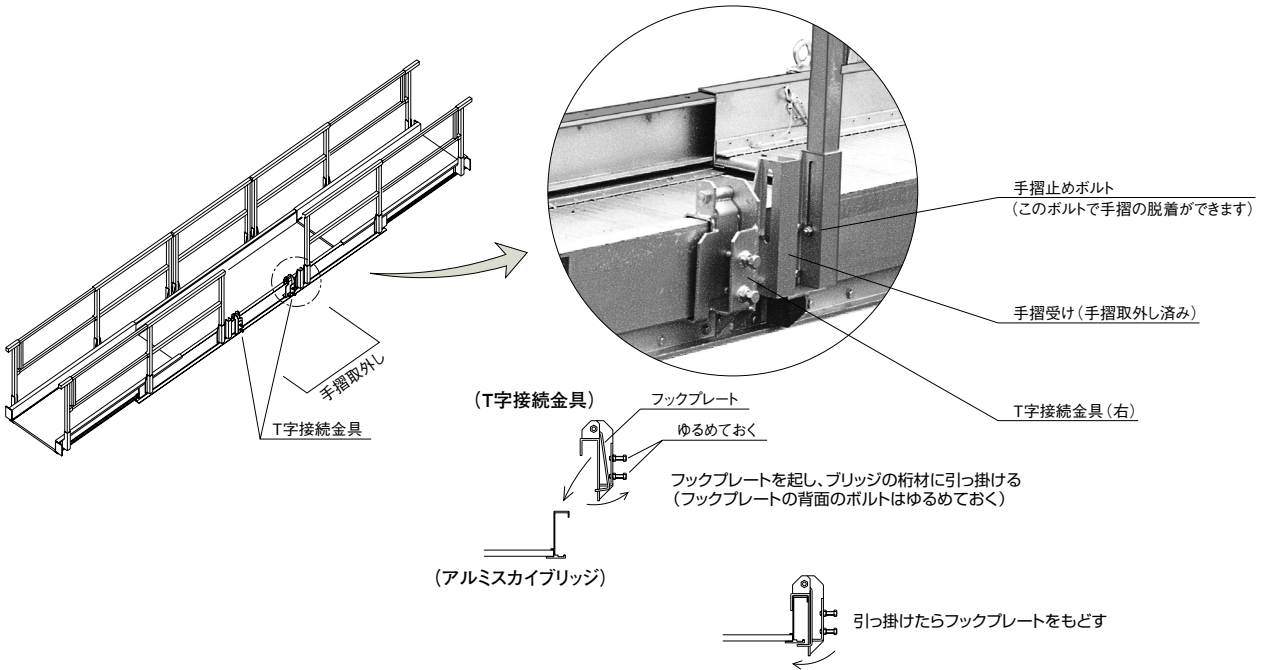
ASKB-ST3,ST4…3.2kg

スカイブリッジの張り出し量が大いときは、ステージ用接続金具を使用し、スカイブリッジと荷受けステージを連結する。

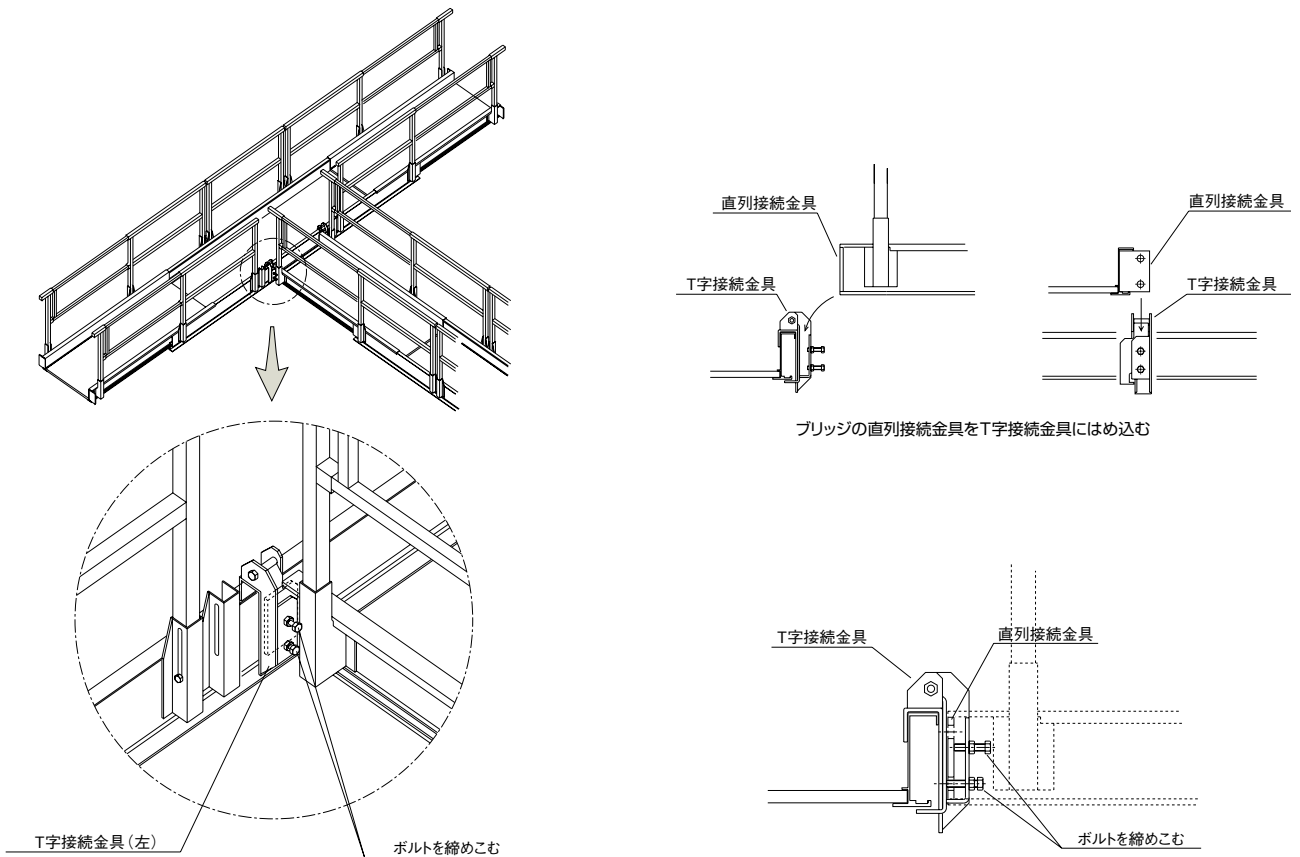


T字接続方法

①接続する箇所の手摺を外し、T字接続金具を取付ける。

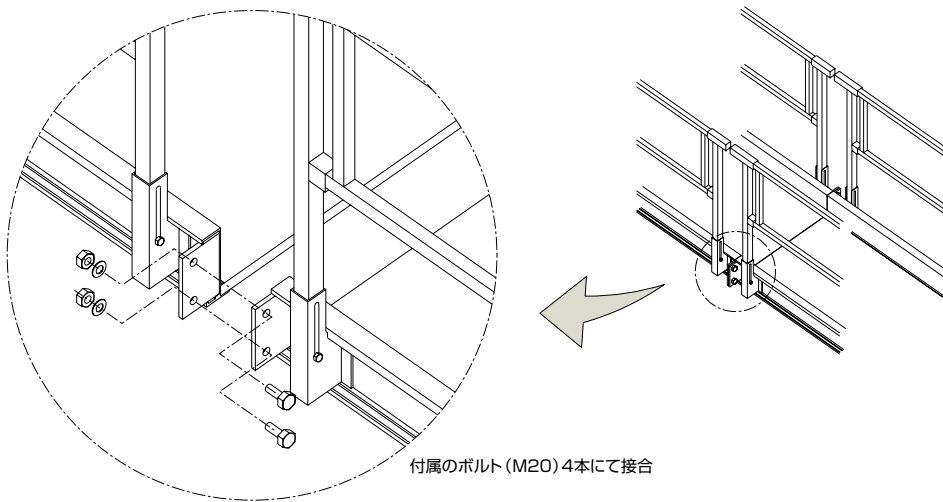


②ブリッジをセットし固定ボルトを締めこむ



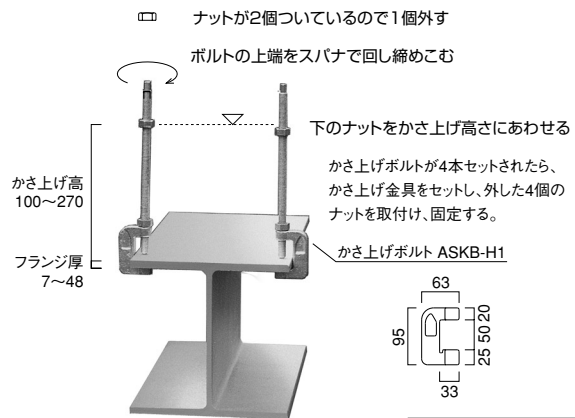
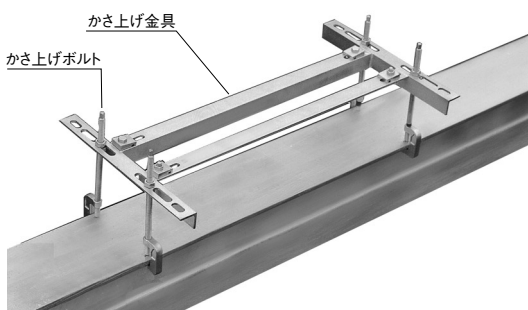
ボルトを締めこむ
上のボルトは直列接続金具の穴に合いません。
下のボルトは必ず直列接続金具の穴に合せ、
T字接続金具に当るまで締めこんで下さい。

◆ 直列接続方法

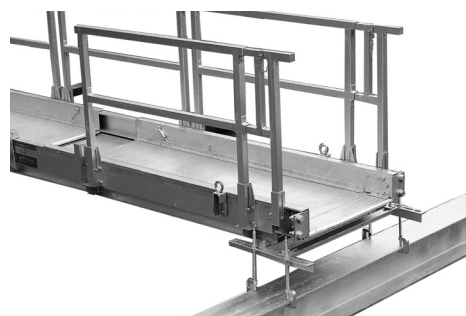
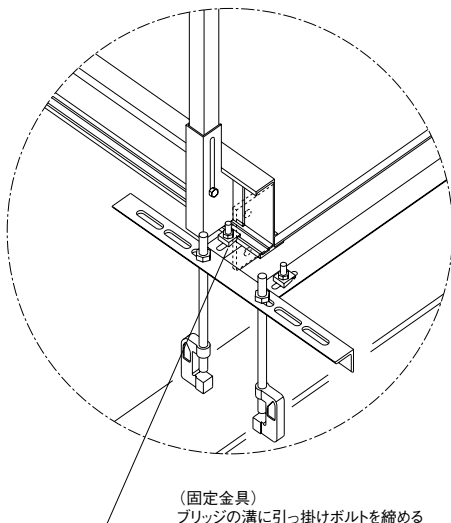


◆ かさ上げ方法

① 鉄骨にかさ上げ金具を取付ける

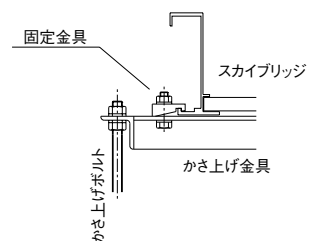


② スカイブリッジを乗せ固定する



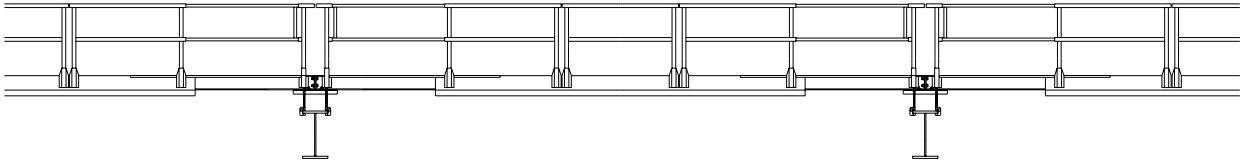
※ 端部は鉄骨外側より300mm程度張出す

● 適合フランジ寸法
フランジ幅: 150~500mm
フランジ厚: 48mm以下

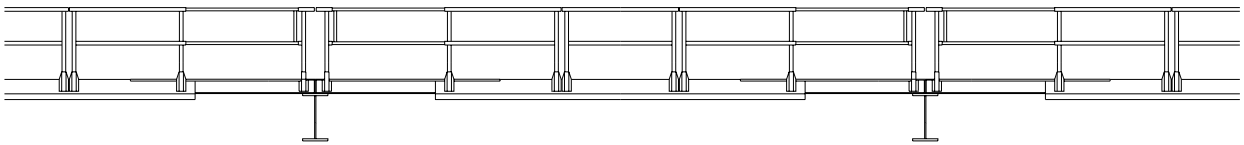


使用例

●鉄骨上の安全通路 (SRC)



●鉄骨上の安全通路 (S)、切梁上の安全通路



●地中梁上の安全通路

